

「高齢者向け住宅」事業へ参入 ラ・アトレ

OASIS外観



多様な不動産事業を展開しているラ・アトレ（代表取締役社長 脇田栄一）は先月、名古屋市内のサービス付き高齢者向け住宅『ナースィングホームJAPAN』及び『ナースィングホームOASIS』を取得、高齢者向け住宅事業に参入した。

両物件は、医療・介護・生活支援が一体化された付加価値の高い高齢者向け住

宅として業界からの注目度も高く、いずれもナースコールという医療機関と提携した会社が運営している。ナースコールは、ナースィングホームJAPAN開業当初より、在宅専門の地元医療法人吉田クリニックと業務提携し、外科医・救急医・在宅医としての経験を生かした院長のもと、その時々最も望まれる医療を受けられる環境を整えるサービスを提供している。

ナースィングホームJAPANは、末期がん患者を対象にした高専賃（当時）として2009年1月に開業、1階には在宅支援診療所（医療法人吉田クリニック）を併

設、24時間体制での在宅医療サービスを提供している。ナースィングホームOASISは、顧客ニーズに応える形でALS（筋萎縮性側索硬化症）等の難病患者も受け入れる「看取り」のできるサービス付住宅として2013年9月に開業し、昨年には高齢者住宅経営者協議会が主催する「リビング・オブ・ザ・イヤー2014」にもノミネートされている。

【お問い合わせ】

ラ・アトレ
東京都港区海岸1-9-18
国際浜松町ビル5階
<http://www.latrait.co.jp/>